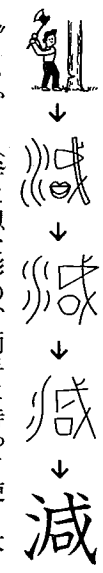


減

五年 筆順 12
オン ゲン
クシ へーる 川らす

成り立ち



まさかり（斧に似た形の、両手に持って使う大きな木を切る道具）の形を表した「戔」と「口」とを組み合わせた「咸」は「まさかりをうちおろす時の掛け声」を表した字です。その「咸」と、川の流れの長く続く意味の「減」とを組み合わせて作った字です。

まさかりを打ちおろす時の掛け声が、長く続きますと「力が次第におとろえます」。「力が次第に」おとろえることを表した字です。【例減退（体力減退）】

数量が「へる」ことの意味にも使います。また、数量を「へらす」ことの意味にも使います。【例減少、減量、減食、減点、増減、加減】

使い方

▽夏には、とかく食欲が減退して、体力が弱まります。栄養価の高い物を食べて、体力の減退を防ぎましょう。
▽わたしのおかあさんは、少し太り気味なので、体重を減量しようとして、減食を始めました。でも、なかなか思うように体重が減らないと、嘆いています。

熟語例

- ▽減退（力や勢いなどが、次第に衰えること。）
- ▽減少（減って少なくなること。例「増加」。「日本の出生率は減少の傾向にある」などというふうに、つかいます。）
- ▽減量（量が減ること。また、量を減らすこと。）
- ▽減食（食事の量を減らすこと。）
- ▽減点（点数を減らすこと。「誤字を書いたので、減点されてしまった」などというふうに、つかいます。）
- ▽増減（増えることと減ること。また、増やすことと減らすこと。「普段から体重の増減に注意していると、健康状態がわかります」などと、つかいます。）
- ▽加減（加えることと減らすこと。また、ちよūdō良い具合に調節することを言います。）

使い方

故

五年 筆順 9
オン コ
クシ ゆえ

成り立ち



「古びた物」という意味の「古」と、手にぼうを持つた形を表した「攴」とを組み合わせて作った字です。

「古くなって役に立たなくなった物を、ぼうでたたいて「こわす」こと」を表した字です。「こわす」、または「こわれる」こと。【例故障、事故】

単に「古い」という意味にも使います。【例故事、故郷、温故知新】

「こわれる」のには「わけ」がある「ことから、わけ」という意味にも使います。【例何故（どんなわけ）。また、「わざとする」という意味にも使います。【例故意】

使い方

- ▽乗っていた電車が、急に止まったので、「事故かしら」と思っていたら、「信号機の故障のため、しばらく停車します」というアナウンスがありました。
- ▽ぼくは、おとうさんに連れられて、おじいちゃんの故郷へ行ったことがあります。その当時は、おじいちゃんはまだもう八十歳で、おじいちゃんの兄弟や友達には故人が多く、その人たちの話をしてくれました。

熟語例

- ▽故障（こわれること。）
- ▽事故（悪い出来事）
- ▽故事（昔あった事や、昔からのいわれ）
- ▽故郷（昔、生まれ育った所）
- ▽温故知新（古い事をよく調べ、その中から新しい知識を得ること。『論語』の中の言葉です。）
- ▽故意（わざとすること。「故意に車をぶつけて来た」などというふうに、つかいます。）
- ▽故人（亡くなった人。昔は「古い友だち」の意味にも、つかわれていました。）